

9月号 こころんネット ニュースレター

まちづくり通信つながり



発行 こころんネット1・2の3
編集 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上一之町44-4
電話&FAX 0577-33-5282
homoo@takavamashishouren.net

今年もやろうよ

「冬のあったか縁日」参加団体大募集

やりたいことひとつ増やそう 大切なことみんなで伝えよう
～ 出会い つながり きづき ～

【日時】1日目 平成19年12月 1日(土) 午前10時～午後4時
2日目 平成19年12月 2日(日) 午前10時～午後4時
【会場】高山市役所市民ホール、市民ロビー、各会議室その他

※どちらか1日のみ、ひとつのプログラムでの参加でもかまいません

※上記の日時および使用会場は、参加団体の内容により調整のうえ最終的に決定します

※参加希望団体は、10月15日(月)までに所定の申込書にて

詳しくは「飛騨高山まちづくり本舗」へ

電話&FAX 0577-33-5282

homp@takayamashishouren.net

3回目を迎える「冬のあったか縁日」
今年も、みんなでのしくてワクワクする
市庁舎まるごと『こどもの城』に参加しませんか



昨年の「冬のあったか縁日」の様子



子ども夢育て募金&子ども遊具等のリサイクル用品 お寄せいただけませんか

子育てサークルや市民活動団体のネットワーク組織「こころんネット1・2の3」では、「子どもたちと地域の人たちとの交流事業」や「子育てを学ぶ事業」などに活用される「子ども夢育て募金」と、親子の交流の場で活用されるリサイクル用品を募集しています。

「子ども夢育て募金」・・・かんかこかんなどに設置されている募金箱、または

銀行振込(高山信用金庫本店口座 001-1142908 こころんネット子ども夢育て募金)まで

「リサイクル用品」・・・おもちゃ、絵本、ベビーベッドなどは、かんかこかんへお持ちください。

★★平成19年1月～8月の間にご協力いただいた方々★★

[夢育て募金]

匿名様	10,000円
国際ソロプチミスト様	100,000円
西ロータリー様	50,000円
匿名様	10,000円
ほっとの会様	19,113円
かんかこかん募金箱に	10,387円
一之宮支所募金箱に	2,745円

[リサイクル用品]

榎様	絵本 20冊
岡兵楽器様	大量のシール
升重様	テレビゲーム
匿名様	ぬいぐるみ 22体
古守様	ベビーベッド (かんかこかんへ)
溝尻様	ベビーベッド (清見つどいの広場へ)
沖本様	ベビーベッド (丹生川つどいの広場へ)

あたたかいご協力ありがとうございます。





フェスタ ふれあい福祉フェスティバル
巨大ダンボール迷路にロボット操作体験他目白押し

◇9月29日(土) 午前10時～午後3時
◇会場：高山市総合福祉センター／ポッポ公園
◇主催：高山市福祉フェスティバル実行委員会
◇問合せ：高山市社会福祉協議会 35-0294

フリマ ピッコロハウス リサイクルバザー
秋冬子ども服100円をはじめお得な品物があるよ
親子交流も一緒に楽しんで!!

◇10月11日(木)
午前10時～12時
◇会場：国府公民館
◇主催：ピッコロハウス



ひろば 親子の遊び教室
『びーぼールーム』 オープン
保育士を講師に、びー(女の子)も、ぼー(男の子)も
ママもパパも一緒に楽しい時間を過ごしましょう

◇9月21日(金) 締め切り
10月19日(金) 午前10時～11時半
11月9日(金) 〃
12月7日(金) 〃
◇会場：世界生活文化センター
◇主催：もちもちの会
◇問合せ：090-4198-0564 (野中)



講演会 中島デコ講演会
『生まれてきてくれてありがとう』
◇講師：中島デコさん (マクロビオティック料理研究家)
◇10月6日(土) 午後7時～8時半
◇高山市役所市民ホール ◇定員200名要申込
◇主催：高山市
◇問合せ：高山市子育て支援センター 33-7963

講演会 青少年育成講演会
『大人に見えない残酷ないじめ』
～今、おとなは何をすべきなのか～
◇講師：山脇由貴子さん (東京都児童相談センター心理司)
◇10月21日(日) 午後1時半～3時半 (開場1時)
◇丹生川文化ホール ◇入場無料
◇主催：高山市社会福祉協議会 高山市民生児童委員協議会他
◇問合せ：高山市社会福祉協議会 35-0294

スキルアップ 子育てスキルアップ講座
子どもとのコミュニケーションはうまくとれていますか?
コミュニケーションのとり方を一緒に学びませんか?
◇講師：松尾千景さん (親業インストラクター)
◇11月14日(水) 午後6時半～9時
11月15日(木) 午前9時～12時
◇高山市総合福祉センター ◇定員 両日30名
◇対象：子育て中の保護者と支援者◇参加費300円
◇申込：10月20日(金)までに所定の申込書で
◇主催：きんたろうの会、こども未来財団
◇問合せ：きんたろうの会 33-5055 または 090-1749-9065



**まちの
ボイス**



今年11回目を迎えた「子どもまちづくりコンクール」。作品のなかに今年も、常連である門谷樹実くん(6年生)の作品がありました。今年の作品は「ぼくの好きな銭湯 Part2」。1年生の時に、審査員を感動させた「ぼくの好きな銭湯」が、以降、商店街などのまちづくり研究を経て5年ぶりに再び銭湯を題材として登場。彼は、きっと中学生、高校生でもまちを愛し、ふれあいを大切にしながらまちとともに成長していくことでしょう。3冊のファイル、地図、アンケート集計にまとめられた作品の中に綴られているメッセージを紹介します。

今年11回目の「子どもまちづくりコンクール」。まちづくりの種は確実に芽吹いています。

ぼくの好きな銭湯 Part 2より
〔門谷樹実くん(東小学校6年)〕

はじめに

ぼくが、今回また銭湯を調べた理由は、1年生の時に銭湯を調べてみて1年生の時に調べられなかったところや、5年たった現在、1年生の時10件あった銭湯が減っていないか。また、ぼくが銭湯について銭湯のことを話してくれたおじさんやおばさんが「元気かなあ」と心配になり、銭湯をまた調べることにしました。

かつて市内に銭湯が更に17件あったそうです。年配者のおられるデイサービスを訪ねて今は無き銭湯調査、現在ある銭湯の様子などを緻密に紹介している作品です。

おわりに

ぼくは、今回銭湯を調べてみて思ったことがあります。それは、アンケートの中で、また、たかの湯の人の話の中にあつた「地域活性化のため」という言葉です。以前このまちづくりを調べた時にもこの言葉を聞いたことがあることを思い出しました。

それは、本町を調べた時です。「地域活性化のために本町に来てほしい商店街の人」と「大きなショッピングセンターへ行ってしまふ市民」。そのためにどんどん古くなり後つぎもなくやめてしまふ少なくなる商店街。今回もにていると感じました。銭湯に来てほしくてでもどんどん少なくなり、でも大型の設備がととのったしせつには家にお風呂があつても人が入る。昔は、どちらも市民でにぎわうところだったのに、今は大型で、駐車場があつて設備がととのった所へ行ってしまふ・・・。

昔は、ひととのつながりを大切にしていたのに今は、少しちがっているように思いました。それと、6年間まちづくりをして思ったのは、たくさんの人たちと、ふれあうことができたことです。毎年みんなやさしくて、応援してくれて、しつていふことをめんどうがらずに教えてくれました。ぼくは、そんな人たちに会えてうれしかったし、大きくなつて、この高山を守つていふなくてはいけないと思つました。